

ハピネス



学校教育目標: 未来をになう人間性豊かでたくましい児童の育成

学校経営方針: 一人ひとりが輝く 子どもが主役の笑顔あふれる学校

1・3・5・6年生1人ずつ
計4人転入

山鹿市立三玉小学校

児童数: 155人

文責: 校長 北山 紗

令和7年8月29日(第9号)

2学期スタート ~一人ひとりが輝く 笑顔あふれる学校~

先日の愛校作業、大変お世話になりました。おかげさまで無事に2学期がスタートしました。学校の教育活動へのご支援に感謝申し上げます。夏休みの間、子どもたちの様子はいかがだったでしょうか。始業式では、4名の子どもたちが夏休みの思い出と2学期の抱負を発表してくれました。みんな堂々としていて、夏休み明けとは思えないくらい、立派でした。また、4名の子どもの転入がありました。緊張した日々が続いているが、温かく優しい三玉っこに囲まれ、1日も早く馴染んでくれることを願っています。始業式の様子も保護者の方々に見ていただきました。155名の子どもたち一人ひとりが輝く2学期にしていきます。ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。



こころをきたえる



- ①行動する力 (こうどうする)
- ②続ける力 (つづける)
- ③守る力 (まもる)

2学期にげんきであいましょう

2学期に・・・

- 自分と同じように
まわりの人を大切にする
- いじめはぜったいにダメ
- あいさつ(目を見て、先に)、
へんじ(ハキハキ)、はんのう(はやく)、そうじ(もくもく)

2学期に・・・「3力」みりょく

感謝！100回

気づき力・判断力・がむしゃら力



「いってきます」+「帰ってきます」

始業式での校長講話より…

夏休みの暮らしについて振り返り、登校の姿をほめました。さらに、2学期も「みりょく」のある学校にしたいと伝えました。「みりょく」とは、「3つのちから」です。

①気づき力: 思いやり。周りの人を大切に思うことが気づくこと。

②判断力: 考えること。いいことなのか、わがままになっていないか考えて行動すること。

③がむしゃら力: 一生懸命に取り組む。これくらいでいいやとかこれくらいしかできないと自分の限界を決めないこと。英語でいうと No Limit(ノーリミット)。

さらにこんな話をしました。今年は、戦後80年です。さすが、三玉っこです。気持ちのいいあいさつができます。朝、人と会ったら、「おはようございます」と言います。朝、家から学校に出かけるイラストを見せ、「何と言いますか?」と問うと、「いってきます」と答えてくれました。この「いってきます」という言葉は、2つの言葉が合体してできたものだと伝えました。昔は旅をするのも、命がけでした。だから、旅立つ人は、「いってきます」と言うことで「必ず帰ってきます」という誓いをたて、見送る人は「いってらっしゃい」という言葉に「行って、無事に戻ってきてください」という思いを込めて言っていたのです。大切な人とまた会うことができるよう願いながら「いってきます」「いってらっしゃい」という言葉ができました。特に、この思いが強かったのが、戦争中です。戦争に行く人は「いってきます」と言うことで「必ず生きて帰ってきます」という誓いを、日本で見送る人は「いってらっしゃい」と言うことで、「無事に生きて帰ってきてください」という思いを込めていました。当たり前に「いってきます」「ただいま」と言える日常に感謝して、一つ一つの言葉を大切に使ってほしいと思っています。地域の中で、みなさんに「いってらっしゃい」と声をかけてくださる方がおられます。「いってきます」と元気に返してほしいです。2学期も、児童会テーマである「チャレンジ 協力 元気なあいさつ三玉っこ」で、みんなでいっしょにがんばっていきます。

夏休み ~人間性豊かな児童の育成~



一人一人が力を伸ばした夏でした。
やはり子どもの姿がある学校は幸せです。



それぞれに
頑張った
夏休み



校長より
感謝

そばには先生が

学習会、
統計グラフ
自由研究など

夏休み中、子どもたちが元気に過ごすことができ、本当に嬉しく思います。宿題の〇つけ等、たくさんのご協力ありがとうございました。